

「ロシアでの留学を終えて」



写真1：赤の広場にて。

皆さん、留学といえば英語圏が当たり前だと思いませんか？

その中で、私はロシアのプレハーノフ経済大学に留学しました。留学をするなら「英語で経営学を学ぶ+α」が出来る国にしたいと考えていたので、ロシアを留学先を選びました。モスクワにある、プレハーノフ経済大学は、とてもインターナショナルな大学なので、授業は全て英語で行われ、今期は60人程の学生が世界各国から集まりました。留学生は皆、寮で生活するので交流する機会も自然と多くなります。私は、ロシア国内を何度も一緒に旅行した、家族とも言える友達ができました。実際にロシア国内を旅してみて、改めてロシアの国土の広さに驚きました。モスクワから少し離れると、風景も人も生活様式も、大きく変わります。モスクワだけがロシアではありません、せっかくですのでロシア国内を旅して実際に体感してみてください。



写真2：ロシアの家族とも言える友達と、ニジニ・ノヴゴロドを旅した時の写真。

また、プレハーノフ経済大学を選んで良かった点を3つ挙げると、1つ目は、治安と立地条件が良い事です。大学は、日本で言う山手線上に位置しており、歩いて赤の広場にも行ける程です。2つ目は、留学生に対するサポート体制がしっかりしている所です。1人の留学生に必ず、ロシア人学生がサポート役として付き、何かあったら気軽に質問したり、助けてもらったりすることができます。3つ目は、質の高い学生が集まっている事です。プレハーノフ経済大学は、ロシアの大学の中でもトップの大学として有名ですし、交換留学生として集まった学生も（ロシアを選んだだけあって？）目的意識が高い生徒が多かったです。

私が、この留学を通してどんな「+α」を学んできたかと言うと（書ききれないくらい沢山あるのですが）、短期の滞在では分からないロシアの魅力だったり、ロシア人のあたたかさ、彼らの物の考え方、言語、文化、（そして、ロシアで生活していく上で欠かせない忍耐！）などなどです。



写真3：ロシア人のダーチャ（別荘）で新年を過ごした時の写真。

最後に、明治大学に通っている皆さんは、留学するにはかなり良い環境に居ると思います。留学の競争倍率がそれほど高くない事（特にロシアは！）、気軽に留学の相談できる事務室や先輩が居る事、そして奨学金などの支援制度がしっかりしていることです。私は、少し遅めの大学4年生の夏から留学しました。就職活動などとの兼ね合いもあり、この時期の留学には、正直、勇気が要りましたが、私は今回ロシアに留学して本当に本当に良かったと思っています。このような体験は、今しかできない経験であり、また将来的にもずっと残る財産だと思います。

これから留学する方も、留学したいと考えている方も、皆さんなりの「+α」を留学で見つけてみてはいかがでしょうか。

明治大学経営学部経営学科4年 白濱加奈